

課内回覧

財政通信 NO.9

平成19年10月

平成19年度,第2回目の財政通信です。m(_)_m

なが~い子どもたちの夏休みが終わりました。子供たちは家でごろごろ?...ではないです。バイト~遊び~教習所と忙しくて家にいません。ばっちの子(意味わかりますか?末っ子のことです。)も毎日サッカー練習で真っ黒。私は...といえば毎日,早朝練習~朝6時からです。7時半で終了し,急いで帰って市役所に...毎年休まない子にご褒美をあげているので,みんななかなか休みません。しかも今年はとっても暑かった。(ToT)平日はコーチもあまりいません。_! !そして,今年も21人に賞品をあげるはめに(^o^)/1日も休まなかった子は5人もいました。

例年がない暑さで,エアコンが大活躍!!電気料がとっても心配です(;)ビールも飲まずにいられなく出費も減らない状態です。余裕もないけど,初めて家族旅行に行ってしまいました。永年勤続でもらったクーポン券を有効に活用してと。でも足りなくて少ない貯金も底に...(>_<)また来年も行くんでしょ...と何も心配しない子どもたち...複雑な笑顔の父ちゃんでした(^_^;)。

今年は,議会の始まる前に総合防災訓練,議会合間の8日に龍宮フェスティバルと大きなイベントが。また今年も,RYU とぴあ音頭パレードです。(^o^)/今年で19回目だったそうです。踊りっ子クラブもだんだん人数が...でも何とか盛り上げようと60名の方が集まってくれました。...年を重ねるにつれ,疲労の度合いが...打ち上げも疲れはてて,早い段階で飲めない状態に..._! !

さて,仕事にもどります。

わが家では,議会の合間を縫って特別交付税の要望書づくり...今年は全国各地で災害が多く余り期待できなさそう(>_<)そして来年度予算編成の準備に...並行して財政推計のローリングや健全化の取組み~20年度に反映できそうな改革の調整などに(T_T)昔と違って忙しいです。予算や決算時期はそのことに集中して行いますが,合間の時期はいろいろな仕事が入ってきて実は大変なんです。頭を使う~考える~創造力を働かせるところ~方針を決めていく重要な時期と思ってます。

でも,時間に追われる仕事が終わって,とりあえず一息です。今後の大きな作業は,来年度の予算編成です。季節がめぐってまたお金の心配です。

でもその前に、ご苦労さん会と決起会をやらないと…またですか…みんな飲みたいんじゃないかと思って、毎年やってっから…家長、そういうのが前例踏襲つーんじやねえの(-_-)家員の冷たい反応…

平成 18 年度決算の分析結果は…(T_T)

さて、決算議会…9 月議会が終わりました。わが財政家にもたくさん質問がありました。その多くが財政健全化や財政状況に関わるもの。一般質問はなんと 15 人！の議員さん。9 月議会には、決算特別委員会もあり、それぞれの家長の皆さんも大変です。でも勉強する機会だと思えば…いいと思いますけど。部課長はじめ、質問の聞き取り、答弁書作成などに追われた職員の皆さん、対応ご苦労様でした。<(_ _)>

今は「予算」より「決算」なんです。以前は予算計画が重要で、その範囲で使い切ることが義務化され、執行率の高さで判断していたこともあったようです。しかし、現在は決算で検証することが大事なことで、それによって効率性、効果性をうみだし、翌年度につなげていくんです。

平成 18 年度の結果ですが、財政の弾力性や余裕を示す指標において、県内 8 位に(ToT)当然悪いほうからですが(>_<)去年から算出が始まった実質公債費比率…これは当市の債務と一部事務組合の債務など合計したものの比率で、18%を超えるとペナルティがあります。当市では 16.8%で12位。昨年より改善(^o^)/うちより悪い団体が11団体もあるって。でも安心しているような率ではないです。

最近では、このような財務指標を使っのランキングなどが全国的にクローズアップされており、市民からの反応も多くなっています。今こそ理解してもらっ絶好の機会だとも思っます。(ただ借金しているわけでないので…内容の検証も必要かと。)

私の長期視点では、債務残高については計画的に減少させることができ、改善できると考えています。(^^)/問題は弾力性。柔軟性。経常収支比率の上昇です。(>_<)いかに自由に使える一般財源を確保できるかです。一気には難しいけど頑張らねばなりません b(^_-)d 平成 14 年度から 18 年度までの 5 年間、95%前後で推移。そして政策・投資的経費(公共事業など)にまわせる財源は 6~7 億円程度。よく言えば、耐えている状態です。よく頑張っているな、耐えてるな…と(>_<)

国からの交付税などが大きく削減されているので、多分どの自治体も厳しいはずで。理論的に市税が伸びれば交付税は下がります。そして改革によってさらに削減されているわけですから、なかなか立ち直れない状況なんです。指標を算出する分母が変わらないので、分子となる歳出経費を地道に切り詰めていかなければなりません、市民サービスの分野はなかなか切り込みが難しいです。(;)

龍ヶ崎市の現状は、家庭生活で例えれば、「ローンで家を建てたけれど、子供の教育費やおじいちゃんの介護の費用が増えているのに給料が上がらない。ボーナスも減っている。」といったイメージだと思います。

今回は皆さんによりわかりやすく、「決算から見える 龍ヶ崎市の財政状況」を作成し、ホームページにアップします。ぜひご覧下さい。

平成 18 年度決算を家庭生活に例えると

自分の家の家計簿はこまめにチェックしていても、龍ヶ崎市の財政はよくわからないから関心がないという方が多いと思います。でも市の財政は市民の家計や生活に関わる重要なものです。

龍ヶ崎市全体の家計簿を自分の財布と同じように、中身をチェックし、有効な使い道を考えていきましょう。

「決算から見える 龍ヶ崎市の財政状況」でも市の決算を家計簿にたとえましたが、ここでは違った視点で、龍ヶ崎市の普通会計(一般会計等)を『龍ヶ崎家の家庭』に、国保や介護、下水道など特別会計を『子供たちの家庭』におきかえ、収入、支出も家庭での収入、支出に例えてみました。

普通会計(一般会計等) 龍ヶ崎家の家庭

特別会計 子供たちの家庭

普通会計の収入は

・自主財源

市税、使用料手数料、財産収入など

給料・ボーナス

繰入金

貯金の取崩し

・依存財源

国県支出金・地方交付税・地方消費税など

親などからの援助

市債

借入金

普通会計の支出は

人件費

食費

扶助費

医療費、保育所や老人ホーム入所費用など

公債費

借金の返済

物件費

光熱水費、電話代、消耗品など

補助費等、出資金、貸付金

友人等への援助、共同管理への負担

繰出金

子ども(特別会計)への仕送り

積立金

貯金

普通建設事業、維持補修費

自宅のリフォーム代、自家用車購入等

としてみました。

「決算から見える龍ヶ崎市の財政状況」では、支出経費を目的別(民生費, 土木費, 教育費…)に例えましたが, ここでは性質別(人件費, 扶助費, 公債費…)として, 人件費を家庭生活上で重要な「食費」として扱っています。

そこで, 給料・ボーナスの年収を500万円として, 家計の収入, 支出におきかえてみました。それが次の表の右側です。参考に1ヶ月の収入, 支出も示しました。

収入の部

龍ヶ崎市の普通会計決算 (平成 18 年度決算)			龍ヶ崎家の家計簿		
			収入項目	年間収入	1ヶ月の収入
自主 財源	市税・使用料	122 億	給料・ボーナス	500 万円	42 万円
	手数料・財産 収入など	1,600 万円			
	繰入金	7 億 7,800 万円	貯金の取崩し	32 万円	3 万円
依存 財源	国県支出金	74 億	親からの援助 年金, 手当等	303 万円	25 万円
	地方交付税 地方消費税な ど	200 万円			
	市債	21 億 2,300 万円	借入金	87 万円	7 万円
収入合計		225 億 1,900 万円	収入合計	922 万円	77 万円

支出の部

龍ヶ崎市の普通会計決算 (平成 18 年度決算)		龍ヶ崎家の家計簿		
		支出項目	年間支出	1ヶ月の支出
人件費	44 億 9,000 万円	生活費(食費)	184 万円	15 万円
扶助費	27 億 9,300 万円	医療費, 保育 園入所費など	114 万円	9.5 万円
公債費	31 億 5,400 万円	ローンの返済	129 万円	11 万円
物件費	27 億 7,600 万円	光熱水費 電話代 消耗品など	114 万円	9.5 万円
補助費等 投資及び出資金 貸付金	40 億 4,600 万円	友人等への援 助, 共同管理 負担金など	166 万円	14 万円
繰出金	19 億 600 万円	子どもたちへの 仕送り	78 万円	6.5 万円

積立金	1 億 5,100 万円	貯金	6 万円	0.5 万円
普通建設事業 維持補修費	25 億 7,900 万円	自宅のリフォー ム代, 自家用 車購入など	105 万円	9 万円
支出合計	218 億 9,500 万円	支出合計	896 万円	75 万円

平成 18 年度の龍ヶ崎家では、給料・ボーナスが 500 万円で、他に親からの援助や銀行からの借金などの収入があり、総額で 922 万円でした。表を見ると、給料だけでなくいろいろな収入があることがわかんと思います。もちろん、給料は全体の 54% を占めていて一番大きな収入ですが、まだまだ親からの援助に頼っている部分があります。(これは国や県からの補助金、地方交付税のこと。全体の約 1/3 もあるんです。)

次に支出を説明しますが、様々な種類の収入(借金もあります)で生計を立てていることをまず念頭に置いて、お金の使い道である支出の状況を見てください。

支出の中では、食費が最も多くを占めています。生計費中に占める食費の割合のことをエンゲル係数と言いますが、これに習えばまだまだエンゲル係数が高いということになります。でも、いろいろ工夫しながら少しずつ食費も切り詰め、ダイエット(職員数の減)もして、少しずつ減ってきてます。

次に多いのが友人等への援助などです。これは、消防やごみ処理、し尿処理を「近くの友人」と共同で運営をしており、それに対する負担が大きな要因です。どれも市町村の業務ですが、共同化により、少しでも効率よく運営できるようにしています。

借金の返済もきびしいところです。家庭におきかえると毎月 11 万円返している状況です。金利を安くするために借換えしたり、少し先延ばしにしたりして抑えているところですが・・・もう、これを超えるお金は今の収入では払えません。

今のローン残高は、1,225 万円(前年度 1,239 万円)。一生懸命返済しているので毎年、減少しています。また、できれば一度に償還したいところですが、用意するお金もなくもう少しガマンです。_」 |

光熱水費や電話代もバカになりません。パソコンの普及や暑さのせいで電気消費量も急上昇(T_T)。こまめな消灯やエアコンの温度管理などで節約実施中です。

家族全員が携帯電話を持っている時代なので、電話代も大きいです。子どもたちの分は、子どもたちに払ってもらわねば・・・という感じです。

そのほか、家族の医療費や子どもたちへの仕送りもしなければなりません。

また、将来のことも考えて貯金も必要です。家も築 30 年を過ぎて、リフォームも必要です。車も買い換えたいし(T_T)たまには家族旅行も(^o^)/しかしガマンできるものはガマンしないと。(>_<)

一方、子どもたち(特別会計)は、一応独立していますが、その生活には給料収入160万円の4倍以上の費用642万円がかかり、祖父母(国・県)と龍ヶ崎家からの支援で生活しています。また、多額の借金(709万円)も抱え、毎年62万円返済しています。子どもたちの借金は、子どもたちが返済できない場合は、龍ヶ崎家が返済する責任を負うことになります。

総括すると…

皆さんはこの家計を見て、どのようにお考えですか。龍ヶ崎家は年収以上の費用をかけて生活しており、少し贅沢しすぎではないか?とか、子どもたちも給料よりはるかに多い生活費を使っていて問題ないのだろうか。借金は返していけるのだろうか。…などいろいろだと思います。

今ちょっと余裕のない状況なのは明らか。家族のだんらんや絆を深めることも大切ですが、レジャーや家族旅行のお金がありません。まして新車なんて…欲しいけど(T_T)車は長持ちさせるか。旅行もお金のかからない方法で…工夫です。

改善のポイントは、自由に使えるお金を確保することであり、日常生活(市民サービス)を含めた抜本的な対策を講じなければ、現状維持さえ難しいことに気づかれたことと思います。身近な例にたとえると、実態がよく見えてくると思います。

財政家長コラム(T_T)

「いつになったら、よくなるんだ。」とよく聞かれますが、答えが難しいです。市町村には自由裁量が少ないので、国の態度や動向で決まってしまうところもあります。龍ヶ崎市で判断できる部分でまず努力していくことが必要です。この3年でなんとか財政を安定させたいと思っておりますが、国の施策(格差是正など)や景気の上昇などに期待する部分も少しあります。自分でできないところは人頼みしかないという心境です。

本格的に健全化に取り組んで7年目です。せっかく頑張ってきているのに。目標も達成しているのに。なぜ良くならない。と思う方もいるでしょう。この努力している分を国で交付税を減らしているから、なかなか状況が変わらない。平均点以上の取組みをしないとダメだということです。

「入るを量りて出づるを制す」という言葉があります。収入の枠内に支出を抑えるということです。支出総額を決めてから、税金の率を決めていくという国もありますが、日本では理解が得られないと思います。身の丈に合った規模にしなければなりません。そうすると、今の予算規模より10億円減です。これで予算を組むべきと…みんなで考えていく問題です。

健全化の究極の目標は、「市民一人一人が自立した豊で安心安全な生活を創ること」だと考えます。プランの最大の目標は、「第5次総合計画」の施策を具体化していく

ための財源確保です。削減の取組みばかりでなく、市を活性化させて企業や市民の所得を押し上げて、税金を増やしていくことも検討中です。そして、市民の皆さんに理解を得るためにも、わかりやすく情報を提供していこうと考えています。そうしたうえで市民の方々が自らできることもあると思います。

税金をきちんと払うこと。ごみを減らそうとか。ごみ処理には、ごみ袋代金の約 50 倍ものお金がかかっているんです。市内で買えるものは市内で買おう。タバコもです。健康で楽しい生活を送ることも医療費の抑制につながります。地域の施設や道路をきれいにしようなどもやる気になれば可能です。

いかがでしょうか。いろいろできることがあると思いますが・・・市民と行政の信頼・・・そして協働・・・パートナーへと・・・そういう街にしていきたいと思います。

全国的に行政や公務員批判があるなかで、何でもかんでも行政が悪いと判断されてしまう世の中で、努力して信頼を取り戻す以外にありません。龍ヶ崎市は違うんだと。頑張りましょう＼(o)/

最後にお願ひ<(_)>

「ゼロ予算的事業」、 「インセンティブ予算執行制度」を推進しています。各課でどのくらいあるのか調査しましたが、あまり報告、提案がきていません。各職場に必ずあるはずです。あまり予算を使わずに職員で努力しているところ。市民の協働を引き出しているところ。創意工夫しているところ。いろいろあると思います。

ご協力お願いします。・・・まとまったらこの「職員の創意工夫や努力」を市民にも公表したいと思います。

また、7月から8月上旬にかけて、行政改革はじめ財政健全化計画の取り組むべき具体策や検討課題事項について、企画調整課、財政課の職員がそれぞれの職場での意見を聞いてまとめたものを拝見させていただきました。来年度の予算編成に向けて整理していきたいと思います。

それでは、次回また(^o^)/